

汎用IoT/Edgeデータ分析クラウド

SpeedBee Hive



主要機能	機能説明
コレクタ	様々なデータを収集してデータベースに登録する機能。 標準で提供するコレクタに加え、ユーザ独自のコレクタをC、C++にて作成し機能拡張。
データ集約およびリアルタイム分析	SpeedBee/TSのデータ集約機能とWindow分析機能を利用して、実データをリアルタイムに分析（基本統計、FFT、ユーザ定義関数）。分析データはDBに保存でき、実データ同様に利用。
エミッタ	クラウドサービス（AWS/Azureなど）に接続し、DB内のデータを送信。実データ、リアルタイム分析データ以外に、永続化データを任意のWindow幅にて集約分析した結果を送信。
OPC UAサービス	DB内の実データおよび分析データをUPC UAを利用して外部システムに提供。ヒストリ機能をサポートし、UaExpertなどでのデータを可視化（グラフ化など）。
DBサービス	DB内の実データおよび分析データをTCP/IP経由で外部システムに提供。永続化データを任意のWindow幅にて集約分析した結果を送信。Hive Clientライブラリ(C,C++)を利用してアクセス。
DBレプリケーションサービス	別プラットフォームのHiveと連携し、データベースを複製。同一のDBが別プラットフォームに生成されるため、負荷分散などで利用。

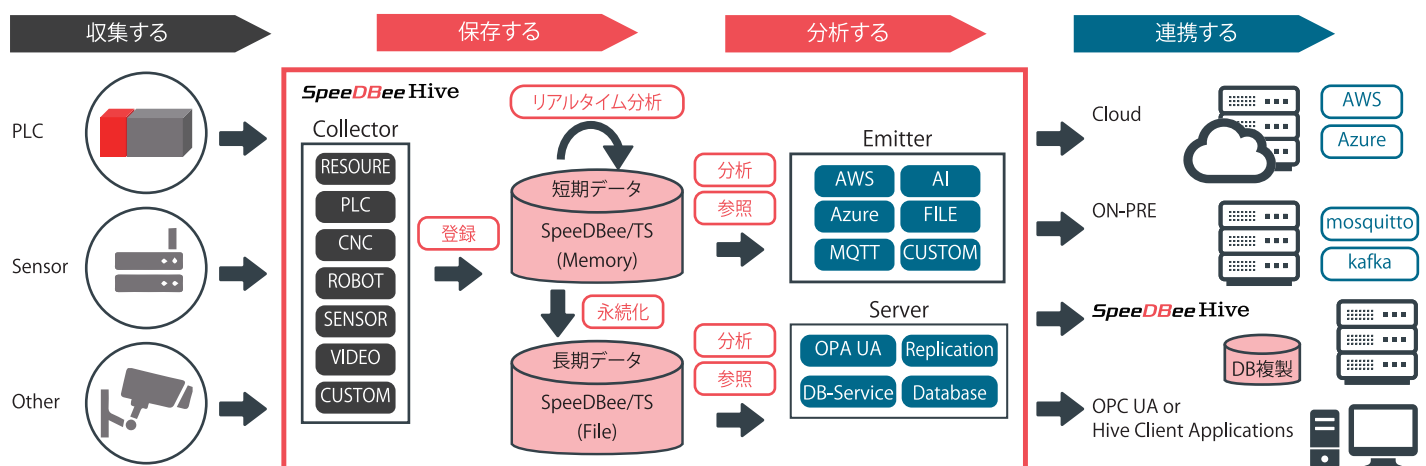
All in One IoT with Edge Computing

WEBアプリで各種デバイス接続・データ分析・クラウド/サーバ連携を設定

導入事例

主要メーカーのPLCが使用可能。WEBアプリでレジストリ情報の収集を実施、データをリアルタイムに分析しストレージにバックアップするとともに、クラウドサービスに送信。
OPC UAクライアントからのデータアクセス、サーバへのDB二重化、AI連携なども可能。

システム構成図



株式会社ソルティスター

本社:長野県塩尻市 拠点:沖縄開発センター/長野R&D/東京都内
本製品に関するお問い合わせ info@saltyster.com TEL:0263-51-9296

